

語ろう!すぎなみのまんなか?

区内大学に通う学生の大学生活、学びや出会い

メンバー紹介 (学年は2025年当時)

なみすけ

東女1 (東京女子大学 社会コミュニケーション学科1年)

東女2 (東京女子大学 社会コミュニケーション学科1年)

高千穂1 (高千穂大学 商学部2年)

高千穂2 (高千穂大学 人間科学部2年)

りったん (東京立正短期大学 現代コミュニケーション専攻 心理コース2年)

女子美1 (女子美術大学 スペース表現領域1年)

女子美2 (女子美術大学 アートプロデュース表現領域3年)

明大 (明治大学 文学部1年)



大学に入った理由



なみすけ

今日はみんなで「学びってなんだろう?」ってことを考えていけたらいいな。他の大学の

の人との交流なので楽しみだね♪

まず最初の質問。

どうして大学に入ろうと思ったの?

女子美1

私は中学生くらいからずっと美術に興味があって、高校も美術系に行っていたんですけど、そのあと就職してやりたいことは特になかったの、それなら大学でも引き続き美術について学びたいなって思って入りました。

スペース表現領域は、空間表現がメインです。インスタレーション (空間全体を作品とするアート) をはじめ、建築やインテリアデザインといった授業もあります。

そういった幅広い分野に触れるという点が選んだ理由の一つです。



高千穂2

自分が大学に入ろうと思ったのは、教師になるためです。中高の先生がすごく良い先生で、自分もこんな風に生徒を助けたり、希望を持ってもらえるような先生になりたいと思って教師を目指しました。

教師になるには大学を卒業する必要があり、進学先を探している中で高千穂大学を見つけました。社会科の教員免許も取れるし、以前より興味があったマーケティングについても学べるから、進学を決めました。



明大

周りの子が入るからというのが一番大きかったですね。今文学部に所属しているのですが、文学部って、就職に繋がらないみたいなことを結構言うじゃないですか。実際にどの場面で役に立つかと言われたら微妙ではあるのですが、それを学んだからこそ、自分とは違う文化圏の人の考え方だったり、こんなに違うんだというのが、まだまだ1年生ではありますが少しずつ分かってきましたね。それがコミュニケーションの礎になっている



というか、何事も無駄ではないのだと本当に思います。

りったん



高校生の頃、就職するにはまだ自信がなくて、でも四大は長いな～と思い短期大学を探していました。その中で自分が興味があることはなんだろうって考えたときに人の気持ちや心理学に興味があったので、『短期大学』で『心理学を学べる』ことを条件に探して東京立正短期大学を見つけました。オープンキャンパスに参加するうちにアットホームな雰囲気と少人数制で一人一人に気を配ってくれる教育が自分に合っていると思い、この短大に入学しようと思いました。

東女2

私は高校生の時に、貧困問題やハンセン病という病気のことを深く学んでいた時期があったんですよ。同じ人間なのに一緒に生きていくことが許されない人たちがいたり、社会から隔絶される人がいたりすることに対して、「どうしてそんなことが起きるんだろう」「こんなに時代は進んでるのに、なぜ過去の歴史の過ちを繰り返してしまうのだろう」と。それで、そのことを解決したいと思って社会コミュニケーション学科を選びました。共生社会などについて勉強したいと思っています。

女子美2

私は高校で油絵をやっていて、大学でも続けたいと思っていたんです。でも、同時に社会に対して何ができるのかを考え始めて、作品を作る人と見る人をつなぐ役割について学びたいと思いアートプロデュース表現領域に進学しました。アートやデザインで社会に対して何ができるかを考えさせられる授業やプロジェクトが充実しているんです。

でも正直、大学に進学すること自体は強い意思があったわけじゃなくて。周りの人も行くし、私も行きたいなという感じでしたね。

高千穂1

人間科学部で心理系を勉強しています。

なんで心理系にしたかっていうと、昔から人の話を聞くことが多くて。というのも周りにずっと喋っている人が多かったんですよね（笑）自分自身も、もともと人の話を聞くのが苦じゃなかったですし。

それで、いざどこの大学に入るかというときに、人の話を聞く仕事をしようと思ったんです。人の話を聞く仕事はいくつかあるだろうけど、近くの大学を調べたときに人間科学部が心理を学べると知ったので、そこに進学しようと思いました。

東女1

私は社会コミュニケーション学科という共生社会やメディアなど、本当に幅広く学ぶ学科に所属しています。高校生の時に模擬授業を受けて、すごくいいなと思って東京女子大学を選びました。今はメディア系に興味があるので、ゼミをメディア系で考えています。入学前からメディアには興味があったので、その流れで大学でももっと深く学んで、将来に繋げたいなと思い、大学に入りました。

なみすけ

メディアって具体的にはどんなもの？

東女1

たとえば私はラジオが好きで、もっと知識を深めようと思いました。他にも、SNSやマスコミなどに興味がある人もいます。

この前ゼミを選んだんですけど、第1希望をメディアのゼミにした人は応募者多数で再抽選になっていました。

女子美2

ゼミが2年からあるんだね。女子美は4年生からゼミが始まる場所もあって、私の領域（アートプロデュース）には4年間ゼミがないんです。もともと一学年20人ぐらいしかいないんです。

東女2

じゃあそれがゼミみたいな。

女子美1

スペース表現領域も少なく。一年生が19人で、多分4年までずっと同じ19人で同じ領域で過ごすんです。だからゼミはどうなるんだろう。新しいコース（2024年度新設）なのでまだ分からなくて。

東女2

東女でも私たちの入学した年に学科の再編があり、新しい形になりました。時代が変わっていくから、大学もその変化に合わせて再編しようという方針があるようで、よく体制が変わるんです。



なみすけ

ところで、女子大の人に聞きたいんだけど、どうして女子大を選んだの？



女子美2

女子美は女子大だけど、美大は全体的に共学でも女子の割合が高いんです。女子大を選んだというよりも、女子美にやりたいことがあったから選びました。



東女1

もともと女子大に行きたいと思っていたわけではなくて、東京女子大学に自分のやりたいことができる環境があったから選びました。それまでずっと共学だったので、正直女子だけってどうなのかと思っていたんですけど、入学後は全然そんな心配はいらなかったと思えるぐらい楽しいです。

東女2

私は逆に中学からずっと女子校です。女子校なら何でも女子だけでやるし、中高時代は特に異性の目がないことによって自由にのびのび生活できたから、大学も女子大にしようかと考えま



した。

この間もオープンキャンパスで、「なぜあなたは女子大を選んだのか」というのでトークショーをやっていたのですが、女子大って、今の時代こそ必要なんじゃないかなって私は思っています。共学の大学でできることもあると思うんですけど、女子だけの環境だから女子が何でもやるという意識がより育つのは、今の時代を生きていくのに必要なんじゃないかなって思っています。

大学入学後に感じたギャップ



なみすけ

大学のイメージは入る前と入った後で変わった？

高千穂1

大学は中高みたいに毎日学校行って勉強するわけじゃなくて、アルバイトに一日割ける日もあると思っていました。でも実際は、1年生から毎日1限に必修授業が入っていて、「あれ？毎日学校行ってる？」と思ったのが入学前とのギャップを感じたことです。2年生になっても、毎日1限や2限から授業があるので、結局毎日大学に行っています。それでも1年生の時に比べて空きコマもできるようになったので、最近はその時間に部室で映画を見て楽しんでいます。



東女1

自分の好きな授業を多く取れるのかなと思ったら、意外にも必修科目が多くて。その中でも、東女はキリスト教の学校なので1年生の時に「キリスト教学」という授業があります。聖書を読む授業です。最初は全然わからなかったんですが、今は聖書も面白いなって。色々自分の知らなかったこととか学べるっていうのがすごくいいなと思います。また、入る前はもっと自由時間が多いのかなと思ってたのですが意外と忙しい……。今日も午前中部活してきました。テ

ニス部です。

りったん

大学に入学する前と、入学した後ではイメージの差はあまりなかったです。オープンキャンパスに何回か参加していたこともあり入学前から施設に関しては少し知っていました。でも！勉強に関してはたくさんありました。まず、自分で好きなように授業を履修できるのが楽しかったです。高校と違い自分の興味あることをたくさん学べるので勉強に関するモチベーションは高校生の頃より大学生の方が大きいです。実際、高校時代は資格を全く取らず卒業したんですけど、大学に入ってから4つほど資格を取得しました！

明大

私も大学に入る前は、自由な時間が増える分ちゃんと縛られてないと自堕落な生活をしちゃうのかなと思ったんですけど、周りにすごく二兎も三兎も追うような人が多くて。空きコマに「絶対今日までにこの課題をやる」って決めてやっていたり、先々を見据えて、例えば二年後くらいに留学したいから今からそのための資格の勉強をする人もいたり。それでもちゃんと遊びもしていて。

私もそれに感化されて、気づけばスケジュールがパンパン（笑）

女子美2

私は入学前は大学ってすごく自由な場所だというイメージがあって、いざ入学するとさらに想像以上に自由でした。みんなも話していた通りだけど、その分自己管理が重要で、全部自分でやらなければいけないのが大変です。入学直後の履修登録も真っ白な状態で始まるから、最初は戸惑いましたね。

東女2

もっと好きな授業がたくさん取れると思っていたら、意外と必修科目が入っていて、前期は特

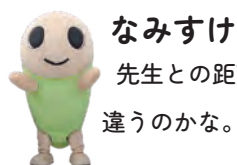
に自由がなかったです。入る前はなんでも好きな授業を取れると思っていました（笑）それでも、高校の時よりも好きな勉強ができていますと思っています。

女子美1

大学に入ってびっくりしたのは、自分で積極的に「これをやりたいです」と言ったことが想像以上に実現できること。

高校生の頃はやりたいことがあっても、どうしても決められた範囲の中でしかできないこともあったけれど、大学に入ったら本当に自由です。サークルの学生が「地域復興をやりたいです」って県に申請して、補助金をもらって自主的に活動しているんです。私も「面白そう、やりたい」って言ったら、そのままスルッと入って、この間スルッと福島まで行ったんですよ。そのときに「大学生だ」って思ったんです。行動範囲が広がり、自由度が増しているっていうのをすごく感じました。

地域のイベントに関わる時も、「大学の学生として」というよりも、「私として」地域の人たちと関わっていると実感します。



なみすけ

先生との距離感はどうかな？大学ごとに違うのかな。

東女2

人によりけりだと思うけど、東女は比較的距離が近いと感じます。

明大

明治はやっぱり遠いっていうか、人数が多いので。1学年の人数は確か8,000人？

一同

え～～！

明大

びっくりですよ。でも、それがまさに私が想

像してた「大学」のイメージですね。1人の先生に200人の受講生、みたいな。みんなはもっと近いんですかね。

女子美1

女子美の杉並キャンパスは（相模原キャンパスと比べて）狭いから、先生との距離が物理的にも近い。



高千穂1

高千穂は近いところは近いのかなって感じですね。距離が近いゼミもありますが、それなりの距離を保ってるところも多いですね。全体的に距離が近いとか遠いとかはなく、先生によって違うかもしれません。

りったん

りったんは短大で少人数制ということもあって、先生との距離はすごく近いです！1年次はクラス担任制なので担任の先生がいますし、ほかの先生方も話しかけやすいです。悩み事の相談に乗ってくださったり、実際に一緒にサークル活動してくださる先生もいます。

大学生活で楽しいこと



なみすけ

大学でいちばん楽しいことを教えて！

東女1

いろんな人と出会えること！いろんな学科があるし、私は寮にも入ってるので、学年を超えた繋がりもあります。留学生の方もいるので、いろんな人の考え方が学べるっていうのが大学の魅力だと思います。



なみすけ

すごい、寮は先輩後輩とも関わりができるんだね。

東女1

先輩と2人部屋なんです。

履修登録も教えてもらいました。近くに頼れる人がいるのが安心です。



りったん

自分で自由に履修登録ができるところだと思います。高校と違って自分の好きなように授業を組むことができるので、より自分の興味関心を深められるチャンスです。また、空きコマ以外にも授業のない日に推しのイベントに行ったりアルバイトの予定を入れたりすることもあります。

私は現在週に2日全休があるので、アルバイトを入れる日と丸一日予定のない休日を作ってメリハリのある生活を送っています！



明大

皆さんの意見と重なるところもありますが、やっぱり自分が好きなことをもう好きなだけ掘り下げて、没頭できる時間があるっていうのが、大学にいて楽しいなって思いますね。もともと本を読むのが好きなんですけど、文学部にいるので好きなだけ本を読める環境があって、それを勉強としてできるのがすごく嬉しくて。もう一つは人との繋がりが増えることです。大学に入ってから初めて知り合った人がたくさん増えてきましたし、同じような興味を持った人や、同じような進路を志してきた人たちが集まっているので、やっぱり話しやすいですね。きっかけとかも見つけやすいし、そういう意味で、やっぱり大学に入ってよかったなって常々思います。

女子美2

自分がやりたいことにどんどん挑戦していける環境があるのが大学の魅力になって思っています。

「こういうことができたらいいな」って思ったことが結構簡単に叶えられちゃったり、あとは

何か相談があった時とか先生もすごく相談に乗ってくださったり。

あと、自分が興味あって入った場所って、自分と同じ興味を持つ人がすごく多いから、そこで「自分と同じことを考えている人に初めて出会えた」という経験がよくあるんです。例えば今日みたいに「学びってなんだろう」という話も、場所によっては「なんだか真面目だね」と流されてしまうこともあるかもしれません。でも、似たようなことに関心がある人が集まると、すごく盛り上がる。さらに自分とはまた違う考えの話が聞けることも、すごく楽しいです。



女子美1

私も同じで、自分の好きなことにすごく集中できることですね。

私、思考を深めるといって、「なんでこれが好きなんだろう」みたいな問いを深めるのが好きなんですけど、それを授業の中でやる機会があったんです。すごく気持ちよくて、楽しくて、嬉しくて。しかも自分の考えが先生や同級生に自然に受け入れてもらえるんですよ。

こういう環境の中で、表現する、勉強するっていうのは、ものすごく息がしやすくて。自分が息のしやすい場所を探して大学に入ったのではないかと思います。



東女2

一つに決められないんですけど、真面目な方とちょっと真面目じゃないのがあって(笑)最初は真面目な方から。もちろん授業も自分の興味のあることをやって楽しいんですけど、ちっちゃいことでもほんとに興味のあることを、フットワーク軽めにひょいって、参加できちゃうところが楽しいなと。自分からアクションしていけばいくらでも人脈も広がるし、やりたいこともできるっていうのが、大学にいてすごくワクワクできることだと思っています。そして、もう一つの楽しみは、毎日の学食です(笑)私は元々食にあまり興味がなくて、お腹を満た

せればいいと思っていたんですけど、大学の学食が美味しすぎて毎日お昼の時間が楽しみです。



なみすけ

写真(すぎキャン! vol.8の表紙をチェック!)にお好み焼きがあったよね?

東女2

お好み焼きと焼きそばですね。「鉄メニュー」っていうのがあって、鉄板の上に乗ってて、熱々で提供されてるんですよ。

スイーツのフェアも時々開催されて、この間もパフェが出てきました。

一同

すごい!



なみすけ

ぜひ区民にも開いてほしい!

東女2

みんなに食べてほしいです。東女のメニューは本当に美味しいので!

孤食問題の解決にも繋がりそう。子ども食堂もあつたりしますが、大学でもそういうことができる、学生と地域の方との交流に繋がりそうですね。



高千穂2

いちばんは、勉強が楽しいなって思っていて。中高では英語とか数学とか、つまらないなあとって授業を受けていたんですけど、今は自分が本当に興味があることを勉強できているので、毎日学校行って、授業を受けて、勉強して、レポート書いてっていうのが今いちばん楽しいです。

高千穂1

自分はどちらかというと自分のペースで勉強し

たいタイプなので、自分で本をめくってる時間が結構好きで。先生の授業もいいんですけど、結局一人で本に向き合ってる時間が一番楽しいなって思っています。

なので、一人で資格の勉強をしている時も楽しいですね。あと、部活も楽しいです。これからは心理の学びのために人との会話を積極的にしたいなという思いはありますが、本当に楽しい学生生活を過ごしています。



なみすけ

部活は何をやっているの？

高千穂1

スキーです。でも冬しか活動できないので、それ以外の時は部室でカードゲームをしたり（笑）別の部活みたいになっていて、それもなんだか楽しんでいるんですけど。

（高千穂2に向かって）ちなみに部長です。

一同

えーっ！



高千穂2

（スキーは）できないんですけど部長です（笑）

行動する力、地域との繋がり



なみすけ

みんな「自分で動かなきゃ」とか「参加してみたい」という話をしてくれたけど、外に出ようとか、人と繋がろうとか、どうしてそう思うようになったの？

りったん

外に出よう！人と繋がろう！と思ったきっかけは特にないです。もともと人と話すことが好きなので人と話すことや繋がることに関して抵抗



がありませんでした。高校時代部活で部長をやっていたのでその経験もあり年上年下関係なく人と繋がるのが好きなのかなって思います。

人と関わる力の育み方ですが、人と沢山話すことが一番だと思います。それこそ、リアルの人間関係だけでなく、SNSも人と関わるきっかけになると思います。



女子美2

私は高校1年生からコロナのパンデミックが始まって、高校3年間がずっとマスクの時期だったんですよ。その頃にすごく消極的になってしまって。学校と家の往復しかしてなかったり、仲のいい数人と一緒に過ごして、それ以外の同級生とはほとんど喋っていなかったり。そういう経験から、自分の世界って狭いなという反省がありました。

だから、大学に入ってから色々挑戦しようかなと思ったんです。ちょうどそのタイミングで、大学側からチャンスをいっぱいもらえて自分の興味の幅が広がったり、交友関係も広がったりして充実してきました。

明大

私は地方出身で高校生まではインドア派だったんですけど、「とにかく大学は東京に行きたい！」ってずっと口に出していたんです。本当に今、1年前の私からは考えられないような生活をしているので、どうにでもなるものだなと最近思っています。口に出しちゃって自分から動いてしまえば、できないことはないんじゃないかな。

そういう経験から、今は積極的にできてるような気がします。



女子美1

環境ってすごく大事だと思います。例えば地域に関わりたくなとか、誰かのために何かしたいなと思っていても「こういうことを地域でやっ

ていますよ」という情報をキャッチできなかったら、そもそも参加できないじゃないですか。それが女子美だと、例えばボランティアの募集がメールで配信されるんですよ。それを見て興味があったら行こうって思えるきっかけになります。

でも、もし大学に入らずに別のことをしていたら、その情報はキャッチできなかったかもしれないわけです。もともと地域に関して何かやりたいとか、誰かと交流したいって思っている、そういう環境が整ってないと難しいんじゃないかなって思います。

大学は学ぶ場所っていうのもあるけど、人との関わりを作ったり、関係をつなぐ情報発信の場所でもあるなっていうことを、今話していただきました。



なみすけ

杉並区や、地域について感じていることを教えて！



高千穂 2

去年、大学の方で杉並について調べて発表しようっていう機会があって、それで色々杉並区を調べてたんですよ。杉並区って活気があって繁華街も多かったり、色々な活動に挑戦しやすかったり...色々なことに挑戦できるのが杉並区なんだなって、大学に入ってからそう思うようになりました。



東女 1

私が住んでいた地域では、小学校に3世代の人たちが集まって料理を一緒に作ったり、マジックしたりする活動が月に1回ありました。そういうものに参加するなかで、地域の人と関わることって面白いなと感じました。将来的には自分がその地域の子供たちに何かできないかなと思っています。大学生の今も地域と、せっかくなら今住んでいる杉並区と、少しでも関わられたらいいなと思いました。

東女 2

大学生になって初めて杉並区に縁ができたので、せっかくなら杉並区ともしっかり関わりたいと思っています。

今の時代インターネットが発達しているので、実際にその場に行かなくても疑似体験できると思うけれど、やはり自分の身体で、その場に行き感じたり聞いたり、話したりしない限り得られないものは絶対にあると思っています。その場の空気感だったり、face to faceで話している感じとか。コロナ禍を経てより強くそれを感じました。

だから、杉並区の人のために大学生ができることを考えるのも、杉並区の大学に通う私たちだからこそできるのではないかなと思っています。



高千穂 1

昔、地域新聞を見た母に「舞台上に立つ経験ができるけどやる？」と言われて。小学校2年生から中学生くらいまで毎年その地域でやっている舞台上に立ってました。小学生から90歳の人も参加するものもあり、そこには自分の祖母や母くらいの世代の人たちが多かったですね。その人たちが他所の子じゃなくて自分の子のように接して、商店街のイベントのときも「手伝いに来るのは当たり前でしょ」みたいによく言ってくれていました。そういうのがいい経験になっているのかなと考えています。



なみすけ

大学を通じて、杉並区という地域と近づき、学びを広げているんだね！

みんな、今日はありがとうございました！

